

平成 24 年度第 2 回 青森市健康福祉審議会高齢者福祉専門分科会会議概要

- 1 開催日時 平成 25 年 1 月 18 日（金） 14 : 00 ~
- 2 開催場所 青森市役所 入札室（第三庁舎 1 階）
- 3 出席委員 村上委員、風晴委員、亀田委員、木村委員、中嶋委員、三浦委員
山内委員
- 4 欠席委員 なし
- 5 事務局 健康福祉部次長 和田孝行、高齢介護保険課長 赤坂寛
浪岡事務所健康福祉課長 斎藤実、高齢介護保険課副参事 伊藤慶尚
高齢介護保険課主幹 新宅雅之、高齢介護保険課主幹 澤谷勝
高齢介護保険課主幹 鳴海昇子、高齢介護保険課主査 蠣崎正大
- 6 会議次第
 - 1 開会
 - 2 健康福祉部次長あいさつ
 - 3 組織会
 - 3 案件
 - （ 1 ）高齢者福祉施設及び居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例案について
 - （ 2 ）その他（報告事項）
平成 24 年度青森市地域密着型サービス事業者の選定結果について
 - 4 閉会

7 議事要旨

組織会

村上委員を高齢者福祉専門分科会長に選出する。また、会長の指名により、職務代理者を木村委員に決定する。

案件（ 1 ）高齢者福祉施設及び居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例案について

事務局より、資料 1 のとおり、高齢者福祉施設及び居宅サービス等の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例案について、説明があった。

意見、質疑応答

委員

4 ページの基準該当サービスのところだが、青森市内に居住している場合は、通常の指定介護サービス事業所によるサービス供給が十分になされているのでわかるが、例えば、市民が県外の、たとえば東京都の施設において、基準該当にあたるサービスを受けた場合に、それは青森市からの給付となるのか。

事務局

今の省令では対象になるが、今回、市では基準該当サービスを削除することになれば、給付の対象としては使えないこととなる。

委員

使えないとすれば、その時になって、大騒ぎするよりは、残しておくことにしてはいいかがか。

事務局

その辺は庁内で議論させていただいたうえで、3月の議会にかけたいと思っている。会長にお答えしていただく中で、対応したいと思うがいかがか。

委員

もう一度、特殊事情をよく考えて、気をつけてやらないといけない。あとで、事務局の方から相談がきましたら、お任せいただけますか。

事務局

説明しました条例案ですが、基準該当も含めて、まだ現段階では案である。

案件(2)その他(報告事項)平成24年度青森市地域密着型サービス事業者の選定結果について

事務局より、資料2のとおり、平成24年度青森市地域密着型サービス事業者の選定結果について、説明があった。

意見、質疑応答

委員

審査、審議、プレゼンテーション、質疑応答だけで判断し、施設の実態について見るということはないのか。

事務局

これから建てる計画なので、現場は確認できない。図面とか、現地の写真とか書類がついている。それ以外にどういった介護をするのかという具体的な提案書、事業計画書等を提出してもらう。

そして、書類審査を行い、上位3社に絞ってプレゼンテーションを実施し、計画書の内容がどういう考えなのか、選考委員の皆様個別に疑問点等を示してもらい、本当にこの事業所がやっていけるか等をご審議し、その結果として決定したものである。

委員

去年、地域密着型サービスを第5期計画で枠をつくと決めたのが、24時間巡回型サービスについては、計画したときに基準とかがはっきりしなかった。

それで結果的に、巡回型は計画に入れなかったが、いろいろ状況をみていくと、訪問介護や訪問看護を何回使っても同じ料金という形になれば、例えば、高齢者集合住宅的な所に住まいながらも、医療頻度の高い人たちを在宅にしながら、支えていけるというのはいいのではないか。それを、26年度が終わって、27年度からというのでは遅い。

それから、保険料の計算とか、第5期計画の修正とかは、手間かかるのかも知れないが、第6期に向けて、保険料が上がっていく事を抑えるためには、早く検討する事が大事なのではないか。

来年度ぎりぎり間に合うようであれば、26年度ぐらいからでも市内に1つか2つ巡回型を作れば、いわゆる介護施設、老人施設に入所しなくても、在宅で介護していける。まさにこれだと、その検討を皆さんでやっていただけないかと思う。

委員

全くそのとおりだ。ただ、今の話は、非常に重要なのだが、これは青森市や下北ではなくて、東京などの首都圏の話で、首都圏は自転車で10分も走ればご老人のいるアパートにもたどりつくし、巡回もできるが、ここは1時間、2時間もかかり、そういうわけにはいかない。青森はなかなか思うようにいかないのに、皆さん悩んでいるのではと思っている。

その辺をうまくやっていけば、効率はいいだろうと思う。逆に効率よくする為にまともならなければだめだから、ご高齢の方々がうんと言ってくれるかどうか。

人口の密集地はいい。青森市はいいかもしれないが、下北などはどうだろうか。

委員

我々は、保険料がどんどん上がっていくことをやはり一番抑えなければならない。そういう面を検討しながら、うまくやってもらいたい。